

待望の新訂版、ついに刊行！

日本建築史・民俗史・語彙研究史上における
学界の一大文化遺産であり、不朽の名著の新訂決定版！

中村 達太郎
日本建築辞彙
【新訂】



中央公論美術出版

推薦文

『日本建築辞彙』新訂版の刊行を祝う

伊藤延男（神戸芸術工科大学名誉教授）

長い間入手困難であった『日本建築辞彙』がこの度装いを新たに刊行されることとなった。名著再来の快挙としてこれを喜びたい。

この書はいささか古めかしい表題からも察せられるように、明治三十九年の初版になる。著者中村達太郎博士は当時帝国大学工科大学教授であったが、この書をあえて高踏的なものとせず、建築現場に流布する用語を蒐集するというユニークな編集方針をとった。それ故、新教育を受けた建築家と現場技術者との間のギャップを埋めるこの書が大いに役立つた。

この種のギャップは今なお本質的に存在している。今回の新訂版は明治版の記述を基本的に残して原文の香りを伝えながら、これに膨大な注釈を加えて現代に対応できるよう配慮がなされている。この書が単に建築家の必携書となるばかりでなく、広く建築に関心を持たれる人びとの座右の書となり、さらには学校に、職場に、図書館に常置されて広く活用されることを期待したい。

目次

序文……………内田祥哉

凡例

日本建築辞彙

後註

参考文献一覧

〔明治版〕口絵

〔明治版〕はしがき

〔明治版〕凡例

〔明治版〕建築語及び文字に就て

解題一……………稲垣栄三

解題二……………藤井恵介

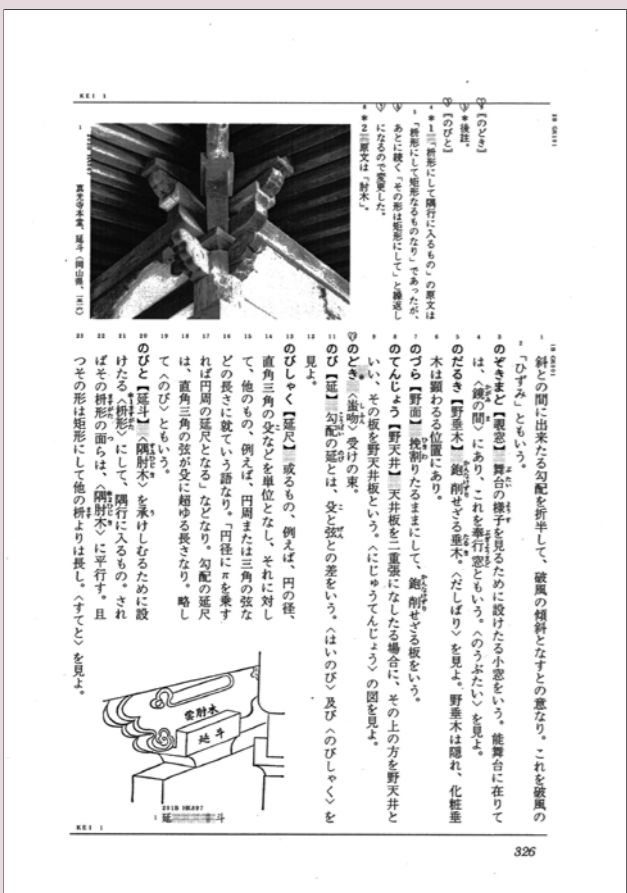
中村達太郎略歴

編集後記一……………三浦清史

編集後記二……………源愛日児

巻末図……………中谷礼仁編

内容見本



「高襟よりは印半纏の立場を取れり」……中村達太郎

新版『日本建築辞彙』は近代日本百年の

建築的思考のドキュメント

磯崎 新（建築家）

今回新版の出る中村達太郎著『日本建築辞彙』は、一九〇六年の初版であり、これに後続の研究が補足した。明治版の本文に平成版には後註が加えられた。西欧建築を受容し、これを日本近代建築に変成し、もはやその区別もみえなくなった今日までの一世紀が、それぞれの項目の語り口から透けてみえるようだ。

語り口が楽しい。「高襟よりは印半纏の立場を取れり」と著者は記している。コンドルに学び洋風建築の現場を知ったうえで、規矩術で施工していた現場技術者に理解できるように説明しようとしている。用語の個別の記述でありながら、東西の建築的言語や概念や思考法までもが、木造建築の細部を介して伝わってくる。私は、「本文」に「後註」を交えてアイウエオ順の配列のまま読むことをおすすめする。「神は細部に宿る」といわれた西欧中世以来の哲学にもとづく建築思想が、日本近代建築の百年にも当てはまるように思える。

新訂『日本建築辞彙』について

― ためになる読み物 ―

永井規男（関西大学名誉教授・日本建築史）

机上の辞書類のなかでも頻繁に使うもののひとつが、中村達太郎博士の『日本建築辞彙』（手元にあるのは第十三版）である。持ちやすく、挿図が適切で見やすいからであるが、文語の説明文が古建築にかかわる報文を書くときなど、気分がよく合うこともあるようだ。けれども本書の価値は、辞典としての有用性だけにあるのではない。付録の「建築語及び文字に就て」において細説されているように、用語の機械的な説明に終わらなくてときに不可解、ときに意味不明の、古建築の用語のわずかなを、そのよつて来るところを、簡明・明快に説いているところに特長がある。読んで面白く、また教えられるところが多い。私事になるが、加齢による用語の忘れが増え、その防止のためにも、ときどき読み返して愉しんでいる。今回、注釈も加えられ、引きやすい「五十音」順で刊行される由なので、新たに机上に加えることにしたいと思っている。

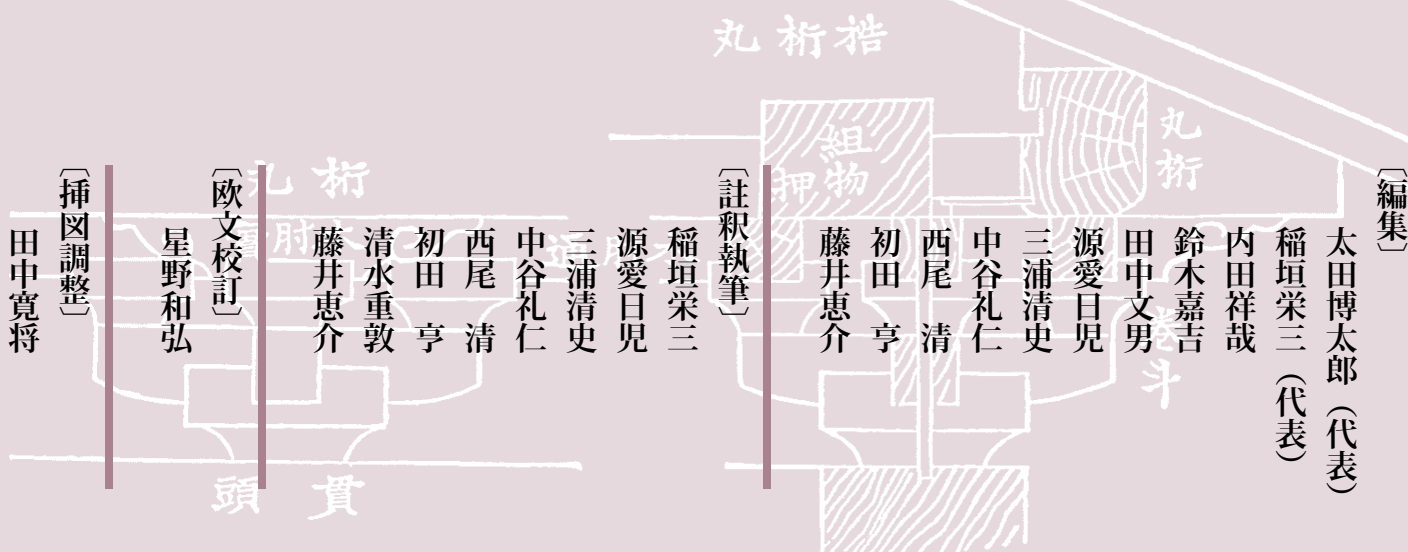
2011年10月下旬刊行

表紙画像

Now Printing

- ◆ A5 判上製カバー装
- ◆ 本文 626 頁・挿図約 800 点
- ◆ ISBN 978-4-8055-0673-8 C3552
- ◆ 定価 6,300 円 (本体 6,000 円+税)

中村達太郎 (東京大学教授・一八六〇—一九四二) が単独で編纂し、約四〇〇〇語を収録した本書は、明治三十九年の初版以来、以後の古建築用語辞典の殆どの淵源であり、史料を博搜して典拠を明らかにした言葉にまつわる定評ある歴史学的辞書として、また建築現場における唯一の民俗学的実用辞典として、今日までの永きにわたり脈々と使われてきた我が国の一大文化遺産である名著の新訂版である。初版の項目の配列を五十音順に、また片仮名などを現行表記に変え、問題のある項目に頭註を施し、さらに言及すべき事柄の多い項目には綿密な調査結果を反映した詳細な後註を加えた。日本建築史の錚々たる学究を動員して、校訂作業開始以来、二十五年を経て成った待望の新訂版。



中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7

TEL 03-3561-5993 FAX 03-3561-5834